

衛 研 第 2 - 3 号
平成29年 4月19日

感染症発生動向調査事業
各 関 係 機 関 の 長 様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。
なお、今週は下記の内容を含んでいます。

記


1. 今週の県内情報
2. 今週の注目される定点把握対象疾患の推移（グラフ）
3. インフルエンザウイルス検出情報
4. 今週の全数把握対象疾患の報告数、累計
5. 結核の届出状況（月報）
6. 今週の定点把握対象疾患の報告患者数、定点当たり報告数
7. 全国及び関東情報
8. 今週の流行状況

担 当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電 話 0493-59-9325
F A X 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp




感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 29 年 第 15 週 (平成 29 年 4 月 10 日～平成 29 年 4 月 16 日)

今週の注目される疾患

は次ページ以降に掲載

全数把握対象疾患では、一類及び二類(結核を除く)感染症の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢 1 人、腸管出血性大腸菌感染症 3 人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3 人、急性脳炎 1 人、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 人、後天性免疫不全症候群 1 人、侵襲性肺炎球菌感染症 2 人、梅毒 2 人、破傷風 1 人の届出があった。

定点把握対象疾患では、**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(2.07 2.41 :  1)の定点当たり報告数は前週よりわずかに増加した。新たな集団生活が始まり、今後、患者数の増加が予測される。保健所別では、川口(6.41)、熊谷(4.33)、春日部(3.83)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、4 歳からの報告が最も多い。**インフルエンザ**(5.92 4.00)の定点当たり報告数は第 4 週をピークに減少しているが、病原体サーベイランスでは、B 型ウイルスの検出が依然続いている( 3)。**流行性耳下腺炎**(0.45 0.49 :  2)の定点当たり報告数は第 13 週以降 3 週連続して微増している。保健所別では、狭山(1.44)、川越市(1.00)、朝霞(0.87)保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎** 26 人の報告があった。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎** 5 人、**感染性胃腸炎 (ロタウイルス)** 7 人、**インフルエンザ (入院)** 3 人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし(結核を除く)	
三類感染症	細菌性赤痢	1 人(病原体 <i>S. sonnei</i>)
	腸管出血性大腸菌感染症	3 人(類型 患者 1 人、無症状病原体保有者 2 人) 血清型 026 2 人 0157 1 人)
四類感染症	レジオネラ症	1 人(病型 肺炎型)
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3 人(菌種 <i>Enterobacter</i> sp. 3 人)
	急性脳炎	1 人(病原体 インフルエンザウイルス B 型)
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 人(病型 孤発性)
	後天性免疫不全症候群	1 人(病型 AIDS)
	侵襲性肺炎球菌感染症	2 人
	梅毒	2 人(病型 早期顕症 期 1 人、 無症状病原体保有者 1 人)
	破傷風	1 人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。

衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613

e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

<今週の注目される定点把握対象疾患の推移>

図1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

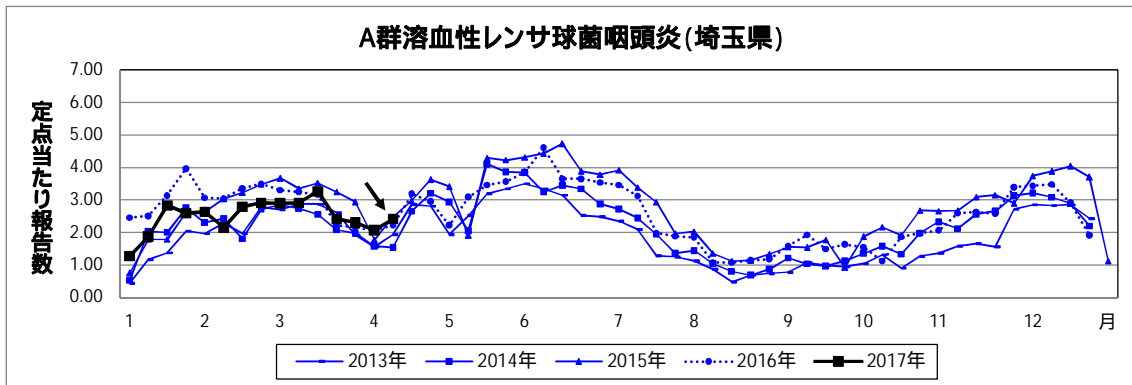
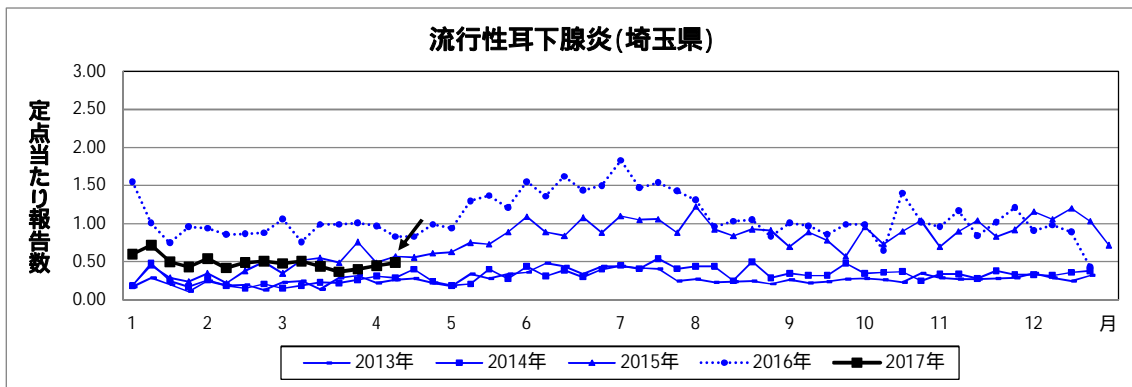


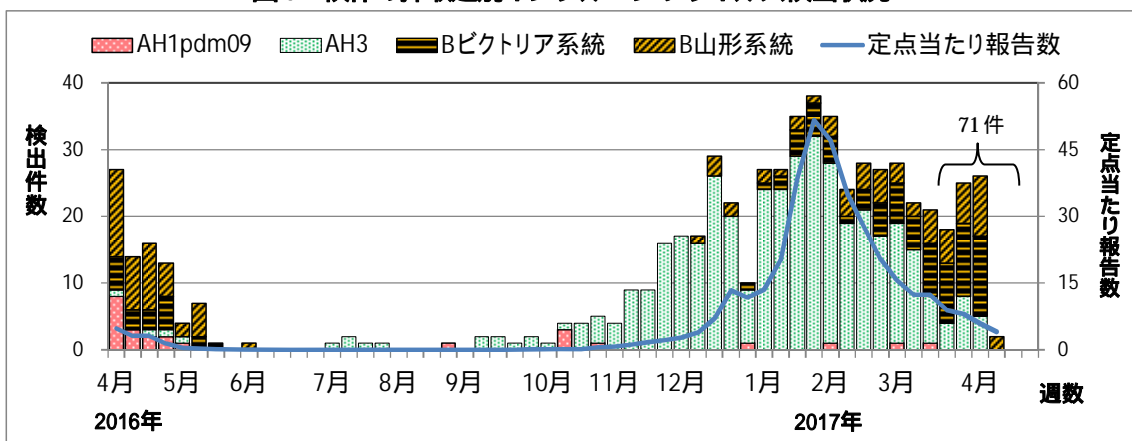
図2 流行性耳下腺炎



<インフルエンザウイルス検出情報>

定点当たり報告数は減少しているが、第12週(3月20日~3月26日)以降の4週間に、14保健所管内の病原体定点で採取された検体からのインフルエンザウイルスの検出数は71件で、B型の検出割合は76.1%(B型ビクトリア系統が32件、B型山形系統が22件)であった。

図3 検体の採取週別インフルエンザウイルス検出状況



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第15週)

(2017年4月18日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		
細菌性赤痢	1	3	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	3	15			
四類感染症					
E型肝炎		6	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)		
A型肝炎		2	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ボツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	13
つつが虫病			レプトスピラ症		1
デング熱		5	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢		19	侵襲性肺炎球菌感染症	2	54
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		2	水痘*		6
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	15	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	14	梅毒	2	45
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	1	破傷風	1	1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	8	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		5
ジアルジア症			風しん		2
侵襲性インフルエンザ菌感染症		3	麻しん		2
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		4
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	1	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(3月分)

3月の届出数は、患者73人、疑似症患者2人、無症状病原体保有者24人の計99人で、前月と同水準であり、患者数も前月と同数であった。

表1 診断月別の届出数の推移(2016年3月～2017年3月)

	2016年*										2017年			累計**
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総計	108	102	107	126	127	129	132	119	81	110	101	102	99	302
年齢階級														
10歳未満	1	1	3	5	3	2	7	3	1	4	0	2	2	4
10歳代	0	1	2	2	1	3	1	2	1	0	1	1	2	4
20歳代	8	17	17	13	19	11	7	11	9	9	7	7	7	21
30歳代	9	8	6	8	9	14	14	7	7	10	12	5	5	22
40歳代	16	7	9	13	14	17	10	10	10	13	6	14	10	30
50歳代	7	10	10	14	14	13	24	19	13	16	8	6	9	23
60歳代	16	10	19	17	16	20	20	17	9	18	25	21	17	63
70歳代	26	25	19	20	14	25	19	27	11	20	20	17	24	61
80歳以上	25	23	22	34	37	24	30	23	20	20	22	29	23	74
性														
男	67	59	59	81	75	72	81	72	45	76	70	59	59	188
女	41	43	48	45	52	57	51	47	36	34	31	43	40	114
類型														
患者	73	83	73	89	88	92	100	74	55	64	75	73	73	221
感染症死亡者の死体	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
感染症死亡疑い者の死体	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
疑似症患者	0	2	1	0	1	0	0	0	0	3	1	1	2	4
無症状病原体保有者	35	17	32	36	38	37	32	44	26	43	25	28	24	77
病型														
肺結核	51	61	56	60	73	74	75	56	38	50	55	55	54	164
肺結核及びその他の結核	7	6	4	4	3	2	5	5	3	2	5	4	6	15
その他の結核	15	16	14	26	12	16	20	14	14	12	15	14	13	42
疑似症患者	0	2	1	0	1	0	0	0	0	3	1	1	2	4
無症状病原体保有者	35	17	32	36	38	37	32	44	26	43	25	28	24	77

*:2016年の届出数は暫定値

** :2017年1月からの累積届出数

3月に診断された99人を病型別にみると、肺結核では10歳未満を除く年齢階級から54人の報告があり60歳以上が40人で74.1%を占めた。無症状病原体保有者では全年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2017年3月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	54	6	13	2	24	99
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	2	2
10歳代	1	0	0	0	1	2
20歳代	3	1	0	0	3	7
30歳代	1	0	1	0	3	5
40歳代	5	0	1	0	4	10
50歳代	4	1	2	0	2	9
60歳代	10	0	2	1	4	17
70歳代	14	2	4	0	4	24
80歳以上	16	2	3	1	1	23

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第15週 平成29年4月10日～平成29年4月16日)

	合計																				
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
インフルエンザ #1	1,027	2	12	50	55	79	58	67	68	66	52	46	98	75	61	74	72	41	24	16	11
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
RSウイルス感染症	19	3	4	10	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	40	-	4	6	10	9	8	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	393	1	3	21	22	37	74	58	31	40	31	16	35	2	22	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,166	8	69	203	170	130	133	104	54	66	45	33	71	14	66	-	-	-	-	-	-
水痘	65	2	-	5	3	4	13	11	8	5	5	1	7	1	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	13	-	-	6	1	1	1	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	10	-	-	2	-	-	1	-	-	3	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	93	4	27	48	9	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	4	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	80	-	-	1	2	8	9	10	14	19	4	4	7	2	-	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	26	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	9	5	3	1	1	1	1
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	5	-	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	7	-	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 13週

(3月27日～4月2日)

平成29年4月19日

インフルエンザの定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は長崎県(15.63)、宮崎県(14.56)、沖縄県(12.90)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は403例と前週と比較して減少した。都道府県別では45都道府県から報告があり、年齢別では0歳(14例)、1～9歳(79例)、10代(12例)、20代(7例)、30代(8例)、40代(4例)、50代(20例)、60代(30例)、70代(65例)、80歳以上(164例)であった。

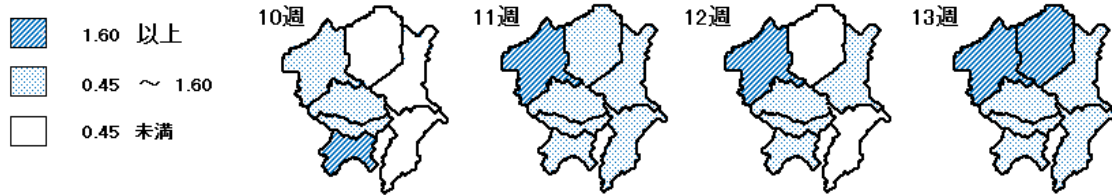
RSウイルス感染症の報告数は648例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別の上位3位は岩手県(0.92)、鳥取県(0.79)、鹿児島県(0.76)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は山形県(5.80)、鳥取県(4.79)、北海道(3.57)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は香川県(9.93)、福岡県(9.90)、宮崎県(9.78)である。水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.97)、宮城県(0.61)、大分県(0.58)である。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は宮崎県(1.08)、秋田県(0.66)、広島県(0.38)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は島根県(0.39)、新潟県(0.22)、青森県(0.17)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は山口県(2.21)、愛媛県(2.16)、長野県(1.83)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は石川県(1.00)、岐阜県(1.00)、千葉県(0.78)、秋田県(0.63)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第6週以降増加が続いている。43都道府県から293例報告があり、年齢別では0歳(42例)、1～4歳(188例)、5～9歳(55例)、10代(6例)、20代(1例)、70歳以上(1例)であった。

<関東情報>

感染性胃腸炎(ロタウイルス)の定点当たり報告数は、群馬県(4.38)、栃木県(1.86)からの報告が多い。

感染性胃腸炎(ロタウイルス)



		平成29年 13週								
		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	33,608	10,447	755	661	670	2,047	1,434	2,635	2,245
	定点当たり	6.78	6.90	6.29	8.70	7.05	8.09	6.73	6.32	6.60
RSウイルス感染症	報告数	648	106	8	3	4	18	23	34	16
	定点当たり	0.20	0.11	0.11	0.06	0.07	0.11	0.17	0.13	0.07
咽頭結膜熱	報告数	984	155	12	6	10	29	15	56	27
	定点当たり	0.31	0.16	0.16	0.13	0.17	0.18	0.11	0.21	0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	6,269	1,926	161	41	151	370	341	494	368
	定点当たり	1.98	2.02	2.15	0.85	2.60	2.30	2.54	1.88	1.71
感染性胃腸炎	報告数	17,034	5,860	310	167	405	1,037	839	1,821	1,281
	定点当たり	5.38	6.14	4.13	3.48	6.98	6.44	6.26	6.92	5.96
水痘	報告数	1,122	379	14	24	8	73	64	107	89
	定点当たり	0.35	0.40	0.19	0.50	0.14	0.45	0.48	0.41	0.41
手足口病	報告数	396	43	2	-	2	7	4	24	4
	定点当たり	0.13	0.05	0.03	-	0.03	0.04	0.03	0.09	0.02
伝染性紅斑	報告数	225	70	3	2	9	6	8	25	17
	定点当たり	0.07	0.07	0.04	0.04	0.16	0.04	0.06	0.10	0.08
突発性発しん	報告数	1,262	379	12	18	29	76	50	119	75
	定点当たり	0.40	0.40	0.16	0.38	0.50	0.47	0.37	0.45	0.35
百日咳	報告数	21	5	1	-	-	1	1	2	-
	定点当たり	0.01	0.01	0.01	-	-	0.01	0.01	0.01	-
ヘルパンギーナ	報告数	79	12	1	-	-	3	5	1	2
	定点当たり	0.02	0.01	0.01	-	-	0.02	0.04	0.00	0.01
流行性耳下腺炎	報告数	1,821	304	7	7	40	64	27	66	93
	定点当たり	0.58	0.32	0.09	0.15	0.69	0.40	0.20	0.25	0.43
急性出血性結膜炎	報告数	2	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	367	174	20	14	3	25	37	11	64
	定点当たり	0.53	0.84	1.18	1.17	0.21	0.61	1.06	0.28	1.31
細菌性髄膜炎 #2	報告数	11	4	-	-	-	-	3	1	-
	定点当たり	0.02	0.05	-	-	-	-	0.33	0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数	12	3	-	1	-	-	-	2	-
	定点当たり	0.03	0.04	-	0.14	-	-	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	123	23	2	1	3	2	7	6	2
	定点当たり	0.26	0.27	0.15	0.14	0.38	0.20	0.78	0.24	0.17
クラミジア肺炎 #3	報告数	2	1	-	-	-	-	-	1	-
	定点当たり	0.00	0.01	-	-	-	-	-	0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	293	109	9	13	35	14	8	13	17
	定点当たり	0.61	1.30	0.69	1.86	4.38	1.40	0.89	0.52	1.42

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

総合トップ

くらし・環境

健康・福祉

しごと・産業

文化・教育

県政情報・統計

総合トップ > 健康・福祉 > 感染症 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2017年 > 感染症の流行状況 2017年 第15週

感染症発生動向調査 2017年

- [感染症の流行状況 2017年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2017年 第14週](#)

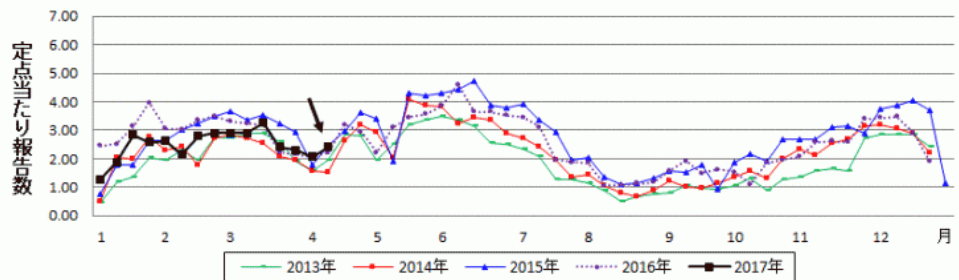
感染症の流行状況 2017年 第15週

2017年第15週（平成29年4月10日～4月16日）の要点 平成29年4月19日

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、わずかに増加し、今後の動向には注意が必要です。外出後の手洗い・うがいととも、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報の掲載ページへ](#)
- [麻疹に関する情報の掲載ページへ](#)
- [風しんに関する情報の掲載ページへ](#)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(埼玉県)



感染症流行状況

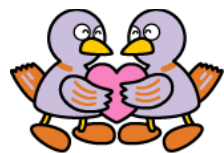
疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	↓	★★	伝染性紅斑(りんご病)	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発しん	→	★
咽頭結膜熱(プール熱)	→	★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	→	★★
水痘(みずぼうそう)	→	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	→	★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。*2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン